

キャリアセンター主催 キャリアを考えるイベント開催 卒業生社員やグローバル企業との出会いの場に

キャリアセンターでは、9月25日にOB・OG訪問会を、翌26日には英語キャリアフェアを行った。

■OB・OG訪問会

訪問会は、就職活動における選考対策ではなく、様々な部門で活躍しているOB・OGとの交流を通して、自身のキャリアを考える機会とすることを目的としている。今回は、卒業生が多く所属する24社を招き、学部3年生だけでなく、1・2年生も含め、延べ約250人が参加した。

会場では「大学での学びが仕事でどのように活かされているか」や「海外で働く際に意識すべきことはどのようなことか」といった質問が学生から投げかけられ、OB・OGとの活発なコミュニケーションの様子が見られた。

参加した学生からは、「上智の先輩だからこそ、親近感を持って質問がしやすかった。自分も同じ上智大生としてOB・OGの方のように頑張れば憧れの企業に入れる気がして、前向きになれた」、「これまであまり関心のなかった企業や業界の魅力に気づくことができた」などの感想があり、それぞれがキャリアを考える良い機会となった。

■English Career Fair

キャリアセンターガイダンス一覧(抜粋)

開催日	開始時刻	終了時刻	名称	開催場所
10月8日～11月7日	12:45	13:20	内定者アドバイス会(計6回)	6-301 (10月17日は6-304)
10月10日	15:30	18:00	OBOG交流会	図書館
10月11日～11月22日	17:20	19:00	総合就職ガイダンス(計3回)	6-301+Zoom LIVE配信
10月15日～12月10日	12:45	13:20	留学生対象 総合就職ガイダンス(計5回)	6-205+Zoom LIVE配信
10月18日	17:20	18:10	25卒生対象 新卒求人セミナー	Zoom LIVE配信
10月23日～10月30日	12:45	13:20	留学前後支援 内定者アドバイス会(計3回)	6-301
10月24日～11月14日	17:20	18:50	【学部1・2年生対象】就活準備ガイダンス(計2回)	6-301
10月25日	12:40	19:00	技術系OBOG交流会～学びとキャリアをつなぐ～	2-17階
11月6日～12月5日	12:45	13:20	『公務員研究シリーズ』業務説明会(計5回)	6-301
11月14日	12:45	13:20	この秋から始める就職活動の進め方	6-301+Zoom LIVE配信

※上記は主なものになります。その他イベントを含む最新情報・詳細はWEBキャリアセンターのガイダンス情報をご確認ください。(「Loyola」>就職・キャリア支援>webキャリアセンターはこちらから→ガイダンスを探す)より)



5年ぶり対面開催のEnglish Career Fair 英語によるキャリアフェアは、テンプル大学ジャパンキャンパスとの共催で今回が12回目。本学2号館17階を会場とし、コロナによる自粛明け初の対面開催となった。対象は、主に2025年秋から26年春卒業予定の外国人留学生と、高い語学力を持つ日本人学生。両大学には日本語能力が十分ではないが、日本での就職を希望する留学生が多く在籍している。他方、入社前に流暢な日本語を話すことができなかったという優良企業も多く、当フェアは、そういった学生と企業の出会いの場となっている。

当日は企業11社、学生が約300人参加。企業概要紹介の後、各社のブースに分かれ、学生は企業と活発なコミュニケーションを取り、今後のキャリアを考えるヒントを得ていた。

ひと

水球2年連続リーグ得点王 個人の強みをいかしたチーム作りで優勝狙う

体育会水泳部水球部門に所属し、2年連続リーグ得点王に輝いた園田麟太郎さん(法学部法律学科3年)。水球というスポーツと向き合うことで感じた自分自身の変化、そしてチームを率いる主将としての胸の内を語った。

4歳からスイミングを習っていた園田さんが水球に出会ったのは10歳のころ。「プールの中でボール遊びをするくらいの感覚で、最初はとても楽しかったのを覚えています」。ルールを覚え始めると、水面下での駆け引きや多彩なチームワークなど、小学生ながらにその戦略性の高さに魅了されていった。

「スイミングをしていたころは、どちらかという内向きでした。□数も少なく、黙々と自己ベスト更新に向けて自分自身と戦っていました。一方、水球はチームで戦うスポーツで、仲間とのコミュニケーションが自然と多くなる。これが自分自身の転換点になったと思っています」

チームとして勝つ喜びや負ける悔しさを味わうなかで、仲間を鼓舞し、時には感情をむき出しにすることもあった。「水中の格闘技」とも呼ばれるほど激しいこのスポーツで、相手を打ち負かすために仲間とぶつかることも度々あった。だが、この経験があったからこそ「自分た



園田麟太郎さん

ちならでできる」という自信や、周囲を見渡す視野の広さも身に付いた。2年連続リーグ得点王という輝かしい成績も、園田さんにとっては手放しでは喜べないという。「現状、チームとしての得点パターンに偏りが出てしまっています。攻め方の幅を広げないとチーム全体として成長は望めないし、自分が卒部する時にチームに置き土産をどれだけ残せるかということも、自分の責務だと思っています」

「水球は大学から始める人も多く、水泳、野球、ハンドボールなどの経験者が毎年入部してくれます。水球経験者と未経験者がうまく調和し、全体の底上げができるよう知恵を絞る日々です。プレーヤーの個性や強みを活かしながら戦術の幅を広げることができれば、リーグ優勝も夢ではないと思っています」

第78回ソフィア祭

11月1日～4日に開催

今年で78回目を迎えるソフィア祭(学園祭)が、11月1日から4日にかけて開催される。今年のテーマは「VIVID」。ソフィア祭に関わるすべての方一人ひとりの個性という色が、生き生きと、鮮やかに描かれてほしい。そして、ソフィア祭が終わった後でも、思い出が鮮明なまま記憶に刻まれ続けて欲しい」という想いが込められている。

ソフィア祭は、1日の「前夜祭」と2～4日の「本祭」と呼ばれる期間に分けられている。前夜祭の目玉であるライブステージでは、ロックバンドのmoon dropをゲストに招き、ソフィア祭限定の特別ライブを実施する。

2日目からは、学園祭のメインとなる模擬店や教室企画、ステージでのパフォーマンスが開始される。学生の日々の活動の成果や、上智の持つエネルギーを直に感じられるはずだ。

3日目には、従来ミス・ミスターソフィアコンテストから2020年にリニューアルした「Sophian's Contest」が行われる。性別などにとらわれない「開かれたコンテスト」として、多くのメディアの注目を集めている。また、同日のゲストトークショーではタレントのローランド氏が登壇する。

4日の最終日には、上智大生の中に埋もれた才能を発掘する企画、「Sophian's got talent(SGT)」を開催。審査員には、現役上智大生のモデル大峰ユリホさんが参加する。

実行委員会は、これまでマニュアル



実行委員長の上坂瑞さん

にはないさまざまなトラブルに直面しながら、臨機応変な対応で乗り超えてきた。ソフィア祭実行委員長の上坂瑞さん(総社3)は、「昨年12月の発足から、2人の副委員長と中心になって準備を進めてきました。楽しいことも苦しいこともたくさんありましたが、なんとかソフィア祭を形にするに至りました。いざ本祭を迎えれば、主役となるのは参加団体、ご来場者の皆様です。私たち207人のこだわりと想いが詰まったソフィア祭を心の底から楽しんでいただければ、これ以上の喜びはないです。メンバーが一つひとつ手作りしたタペストリーや横断幕、看板などの装飾品にも是非注目してください。四谷キャンパスでお待ちしています！」と意気込みを語る。

詳細はウェブサイトから。



ソフィア祭2024のロゴ

企画展「上智を知るならここからスタート！」

SOPHIA OPEN CAMPUS 2024で大盛況

8月2日および3日、高校生を主な対象に行われたSOPHIA OPEN CAMPUS 2024の企画として、図書館9階のソフィア・アーカイブズの展示エリアにおいて「上智を知るならここからスタート！」が行われ、2日間で延べ約1000人が来場した。

このイベントは初実施で、予約不要・入退場自由という参加しやすさもあり、説明会や体験授業などの合間に来場する高校生や保護者も多く見られた。

来場者の中には、上智がカトリックの大学であることやローマ教皇と密接な関係をもっていること、そして学院が中高4校を設置しているということを知り、初めて知る方もいた。また、イエズス会や紀尾井町という場所の歴史に関心を持つ方も多く、もともと上智が男子校だったことや学内でも大学紛争があったことに驚く声もあった。

ソフィア・アーカイブズの職員は、「単に見るだけの展示とならないよう、豆知識を掲載し、立ち止まって考えてもらえるような構成にした。ま



大賑わいのソフィア・アーカイブズ展示室



かつて学生証に使われていた割印体験が人気で、ウェルカムカードに割印(かつて学生証で使用していたもの)を自由に押せるコーナーは大人気で、説明会やキャンパスツアーでは得ることのできない『上智の原点』や『上智のここから』を体感してもらえたのでは」と企画を振り返った。